



緑風の子

梁瀬小学校だより

令和5年12月8日

校訓「明るく 強く 健やかに」

学校教育目標「いのち輝く梁瀬っ子の育成」

一人一人がみんなのために梁小フェスティバル2

○運営委員会が進め、代表委員会で検討し、3年生以上の各クラスで立案・運営をする「梁小フェスティバル2屋台集会」を11月29日（水）に行いました。受付から説明係、準備やおぼけの係等々、各クラスで係分担を決め、クラスごとに工夫した催し物（屋台）を行います。ボーリングからお化け屋敷、迷路にくじ引き、飛行機飛ばしに的当て等々児童達が楽しめる物ばかりでした。興奮気味の子も多く、笑顔あふれる50分間でした。

○一つ一つのクラスの催し物が7クラス分、どのクラスもみんなを楽しませようとする想いが詰まったものばかり。1・2年生は50分間フルに楽しめます。3年生以上は楽しむ時間は25分、交代して25分間は、役割があるスタッフとして、運営を行います。文化祭的な感じです。とても心打たれたのが、そのスタッフをするみんなの動きです。来てくれる人を楽しませようとする心遣いを感じました。一人一人が自分の役割をしっかりと把握し、みんなのためにとがんばっている姿は、本当に良かったです。その想いがみんなの笑顔につながっているのですね。自分達で考え、動き、そして、笑顔にする。各クラスに達成感があったように思います。一人一人を思う気持ちをこれからも育ててほしいですね。



ホール給食お試し期間

○11月21日（火）令和2年度、コロナ禍で中止していた「ホール給食」を令和6年度4月より完全実施する方向で進めています。令和元年度まで2年生以上は給食ホールで給食を行っていましたが、コロナが流行り、教室での給食を行っていました。しかし、収まりかけていたことを受け、再開したいと考えています。そこで、4年生以下の児童達はホール給食の経験がありません。いきなり4月からと言っても難しいので、1か月間のお試し期間を設け、課題を見つけ、改善を検討していこうと思います。5・6年生も4年も実施していないと忘れていることも多いです。今回の試行で先生も含め、4月からスムーズに取り組めるようにとしています。1年生は、今まで通り教室での給食を行っていきます。しかし、まだまだ安心はできません。状況に応じた対応を心がけていきたいと考えています。



4年生が育った大根の観察や草取りを

○11月28日（火）元栗鹿小の農園で4年生が育てている大根の観察や草取りを体験しました。大根の育ち方に差があるのは、様々な理由があることや葉っぱについての説明等を聞いた後、各自で観察をし、周りの草取りをしました。大きくなりかけている大根が見えているので、興味津々でした。収穫は今月の19日（火）に行います。楽しみです。



梁瀬小学校ホームページ

○梁瀬小学校のホームページをご覧ください。ホームページには、梁瀬小の様々な情報を紹介しています。「行事のようす」は日々更新しています。また、「月の予定」は毎月更新しています。学校の様子が分かるようになっていきます。ぜひご覧ください。



4年5年の標準学力調査(国語)の結果分析

○前回、6年生の分析を紹介させていただきましたが、今回は、4年生・5年生の国語の標準学力調査の結果から見えてくる分析をしました。

【5年生】《全体的な分析》

- 本学年の平均正答率は、この調査を受けた全国平均よりも高い。総合的な力は、ほぼ定着している。
- 領域別正答率で見ると「話すこと、聞くこと」今回は聞き取りテスト方式であったが、非常に高い正答率であった。「書くこと」に関しても、例年の正答率より高かった。
- 問題の内容別正答率を見ると、「話し合いの内容を聞き取る（聞き取りテスト）」「漢字の読み書き」「言葉の学習」「物語の読解」「説明文の読解」等の問題においての項目で全国平均を上回っている。
- しかし、「書くこと」に関しては、例年の平均よりは高いが、全国平均よりやや低く、課題として残る。「文章を書く」問いは全国的に見ても低い傾向にある。
- 修飾語の理解に課題が残る。3年生で学習した後、学習する機会がなく、忘れている子が多いことが分かる。

【4年生】《全体的な分析》

- 本学年の平均正答率は、この調査を受けた全国平均よりもわずかに低い。現5年生と比較したら4ポイントほど低い。総合的な力は、ほぼ定着している。4年生も聞き取りに関しては、とても高い。5年生よりも全国平均を上回っている。
 - 問題の内容別正答率を見ると、「話し合いの内容を聞き取る（聞き取りテスト）」「漢字の読み書き」「説明文の読解」等の問題において、全国平均を上回っている。
 - しかし、「書くこと」に関しては、全国平均より低く、課題として残る。
 - 「言葉の学習」についてもやや課題が残る。（主語・述語、ローマ字等の学習で）また、物語の中での登場人物の気持ちの変化を読み取ることに課題が残る。
- 《指導を充実させるために》
- 国語教材は、どれだけ読んだかが大切である。一、二回程度読んでもしっかり理解することはできない。日頃から本文を読み込む習慣をつけておく必要があると考えられる。
 - 発表で意見や理由を述べられても、実際に文として書けるかはわからない。実際に文として書かせる機会を増やすことで、書き慣れてくると考える。また、書いたことを何度か見直す（推敲する）
 - 主語、述語、修飾語等の理解が曖昧である。この理解が深まれば、文を書くことの基本となり、書く力の向上にもつながると考える。定期的にこれらを問う機会を設けていきたい。
 - 文を書く上で習った漢字は、必ず使うようにしていけば、漢字の意味も理解しやすくなる。
 - 「書くこと」が全国的になぜ苦手かという、書く機会が少ないからである。どうしても授業時間に限りがあり、書くことまで時間がないのが多くの傾向と考える。「書くこと」の時間がとれるように工夫して指導していくことを心がける。現在は全学年で「書く機会」を増やしている。

たくさんの表彰を受けました。おめでとうございます②

○第75回県幼・小・中造形教育展

- 入 選 村上 瑠彩さん、筒井紫千花さん（6年）福島健太朗さん、松山柚乃芭さん（5年）
岩城 和奏さん、漆垣 柊大さん（4年）安田 百花さん、加藤 芹さん（3年）
下岡 諒太さん、落合 勇斗さん（2年）木村莉里愛さん、山本 佳凜さん（1年）

○第69回但馬造形教育展

- 特 選 藤本 太祐さん（4年）塩見 和叶さん（2年）
入 選 岡田 紗奈さん（6年）山下 太聖さん、藤原蓬奈美さん（4年）佐藤あかねさん（3年）
吉本 凜さん（3年）山本幸太朗さん（2年）高井志帆子さん（1年）

【朝来市入選】

奥愼太朗さん、中村優汰さん、安達 渉さん、谷 悠陽さん、児島大翔さん（6年）木村隼琉さん、三谷輝星さん、梶原結愛さん、衣川真緒さん（5年）西村太壱さん、澤田照憲さん、荒田美月さん、霜倉伶愛さん、中村嵩人さん、漆垣柊大さん、藤岡隼汰さん（4年）中島心菜さん、吉川蒼真さん（3年）衣川廉人さん、吉本亜美さん、岡本優杏さん（2年）秋森結月さん、荒田一香さん、稲場梨花さん、足立伊織さん、大谷晴太さん、霜倉蓮斗さん（1年）

※赤い羽根募金10,366円集まりました。ご協力ありがとうございました。

※「梁瀬小学校ホームページ」をご覧ください。学校の行事等の様子を更新しています。

